



東北地方整備局仙台河川国（仮想現実）技術を利用した  
道事務所は、仙台市内で実施 橋梁下部工の施工状況見学、  
している大規模土木工事現場 MR（複合現実）技術による  
で3日、大学生が対象の体験 橋梁上部工の架設シミュレー  
型現場見学会を開いた。片側 ショーンを体験した。

7～8車線の国道4号と同5 建築や土木を学ぶ学生にイ

## インフラDXの最新技術紹介

車線の市道元寺小路福室線が インフラDXの最新技術を紹介  
平面交差する「箱堤交差点」し、建設業への興味を深めて  
（仙台市宮城野区）を立体化 もらうのが目的。現場見学は  
するプロジェクト。東北学院 高田機工（上部工）と橋本店  
大学工学部環境建設工学科の（下部工）が協力した。学生  
3年生約50人が参加し、VR は工事の説明を受けた後、V

## 仙台の大規模土木現場 大学生が体験型見学会

東北整備局

R・MRゴーグルを装着し、  
交差点に高架橋を架設する様  
子、橋桁を支える下部工の施  
工状況などを体験していた  
写真。

箱堤交差点立体化の事業区  
間は仙台市若林区卸町～宮城  
野区苦竹の延長1400㍎。  
長さ285㍎の鋼5径間連続  
箱桁橋が「日本一の大きさ」  
と呼ばれる交差点をまたぐ構  
造になる。交差点直上に一晩  
で橋桁を一括架設する作業は  
来年2月の実施を予定してい  
る。

